

11/24 (月・祝) 13:30~15:00

会場

仙台文学館講習室

定員

八十人(先着)

佐伯一麦 北根

ダイアローグ

2025

-宮田毬栄さんを迎えて-

仙台文学館館長の佐伯一麦が、各分野で活躍されている方、注目している方をお迎えするシリーズ企画「北根ダイアローグ」。
今年は、編集者で文筆家の宮田毬栄氏をお招きして、松本清張や西條八十、北杜夫など交流のあった作家の思い出や、著書『忘れられた詩人の伝記―父・大木惇夫の軌跡』についてお話を伺います。



さえき かずみ
佐伯一麦

1959年、仙台市生まれ、作家、仙台文学館館長。仙台第一高等学校卒業後に上京し、週刊誌記者や電気工の勤めの傍ら作品を執筆。著作に『木を接ぐ』(海燕新人文学賞)、『ショート・サーキット』(野間文芸新人賞)、『ア・ルース・ボーイ』(三島由紀夫賞)、『遠き山に日は落ちて』(木山捷平文学賞)、『鉄塔家族』(大佛次郎賞)、『ノルゲ』(野間文芸賞)、『還れぬ家』(毎日芸術賞)、『渡良瀬』(伊藤整文学賞)、『山海記』(芸術選奨文部科学大臣賞)、『アスベストス』『ミチノオク』などのほか、ルポルタージュ『石の肺 僕のアスベスト履歴書』、エッセイ集『月を見あげて』、『とりどりの円を描く』、『Nさんの机で ものをめぐる文学的自叙伝』など著書多数。



みやた まりえ
宮田 毬栄

1936年、東京生まれ。1959年、早稲田大学文学部仏文科卒業。同年、中央公論社に入社。『週刊コウロン』編集部、出版部などを経て、文芸誌『海』編集長、出版部部長、中公文庫副室長を務め、さらに「中央公論文芸特集」編集長と雑誌編集局局長次長を兼務する。1997年に退社。以後文筆・講演活動が続けている。著書に『追憶の作家たち』(文春新書 文藝春秋刊)、『忘れられた詩人の伝記―父・大木惇夫の軌跡』(中央公論新社刊/読売文学賞評論・伝記賞)がある。

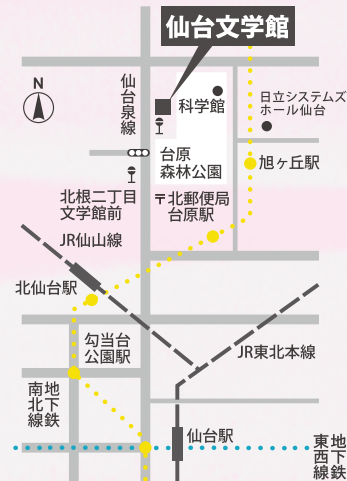
申込方法

10月21日(火) 10:00より電話受付
先着80人
電話 022-271-3020 (9:00~17:00)



仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
URL: <http://www.sendai-lit.jp/>



交通のご案内

●バス利用の場合

<宮城交通バス>
仙台駅西口バスプール2〜4・6番乗り場
仙台北・泉地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)

<市営バス>

仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車後、徒歩5分

●地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、南一番出口より、台原森林公園内「あかまつの道」経由、徒歩約25分
※山道です。雨天時は道が滑りやすくなりますので、ご注意ください。

●自家車利用の場合

駐車場 40台(無料)